



かがやき

広陵町立広陵東小学校

No. 17

令和6年1月12日発行

今年もよろしくお祈りします

2024年・令和6年、新しい年を迎えました。旧年中は、ご理解ご協力をたまわり、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお祈りします。

年末は、コロナなどの感染症に対してさほど気を遣うこともなく、以前の賑わいを取り戻したような光景が報道され、うれしく思っていました。しかし、元日には大きな地震に見舞われ、また、航空機の事故が伝えられ、心痛めるお正月となりました。被害に遭われ、命を落とされた方のご冥福をお祈りいたします。

第3学期 始業式

全校のみんなが体育館に集まって、第3学期の始業式を行いました。昨年までは、体育館に全校児童が集まることは避けて、オンラインや運動場で行ってききました。こうやって体育館で集まって行うことができるだけで、うれしく思っています。

子どもたちには、地震のこと、航空機の事故のことにも少し触れ、自分たちは、「いのちの大切さ」「当たり前と思っている生活のありがたさ」を感じながら、一日一日頑張ろうと話しました。

その後、産休に入るため、お休みとなる3年1組の担任の小島先生の代わりに来ていただくことになった、西畑ほのか先生を紹介し、ご挨拶をしていただきました。



新しい通学路での登校



歩道橋の工事にとまない、一部通学路を変更しての登下校がスタートしました。

年の初めに ～教育は人なり～

1月9日の始業式の日、登校してくる子どもたちは、元気に「おはようございます」と挨拶してくれました。また、私が教室を訪れると、「明けましておめでとうございます」と新年の挨拶も自然に聞かれました。

挨拶などの「人と関わる」行動や規範意識は、これまでの経験や学習によって学んだことをもとに、自然に善悪の価値判断をして身に付けてきます。

ところが、自分で判断できないことに対して「その人の自由」ということで自分の責任を避けようとしてしまうことが多い社会になりつつあると思います。同時に、社会性の低下は個人の好みの問題としてとらえられ、人と違うことをすることが個性であり、良しとする傾向もあるように思います。違うことだけに価値を見だし、人としての尊厳に関わることまで、個人の自由であるかに言われることもあります。

その結果、「違いのとらえ方」が規範を超え、ルールやきまりさえ必要ないという無秩序な状況が生まれてしまいます。ルールによって学校生活やスポーツがより楽しくできるように、「お互いがより豊かに生きる」ため規範意識を高めていきたいと思っています。

新年を迎え、誰もが豊かさを実感できる社会の実現が期待されます。私たち大人が、最も身近な教育環境であるという意識で、人生の先輩として規範を示していけたらなあと思います。

このことが実現に繋がり、何よりの教育であると考えています。

～教育は人なり～

1月の掲示



一月の掲示はお正月らしいデザインです。竜の周りにだるまや鏡餅がたくさん並んでいました。

